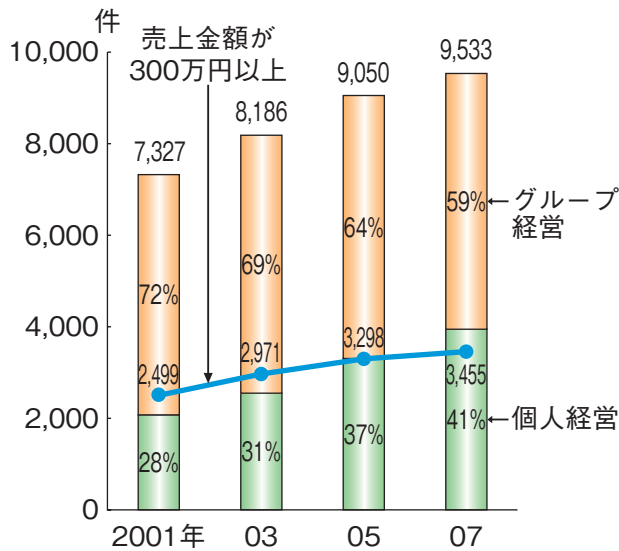


(4) 女性の社会参画のための取組

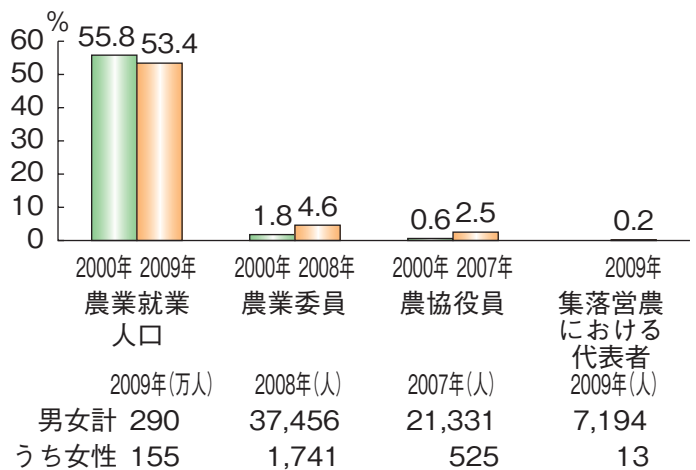
- 女性農業者の起業活動は、年々増加し、平成19年（2007年）には9,533件。その多くが食品加工、農産物や食品等の販売。
- 一方、女性農業者は、農業就業人口の53%（平成21年（2009年））を占めるものの、経営・社会への参画状況は低位。女性の社会参画によって、例えば、農協で女性役員が登用された場合、男女共同参画意識の向上、起業活動に関する意見や従来にない視点の意見が出るなどの効果が指摘。
- 今後、女性の経営・社会参画に向け、農業技術・経営等の知識習得、意識の変革、家事・育児・介護の負担軽減等による活動しやすい環境づくりを図っていくことが必要。

3-53 農村女性の起業活動数等の推移



資料：農林水産省「農村女性による起業活動実態調査」

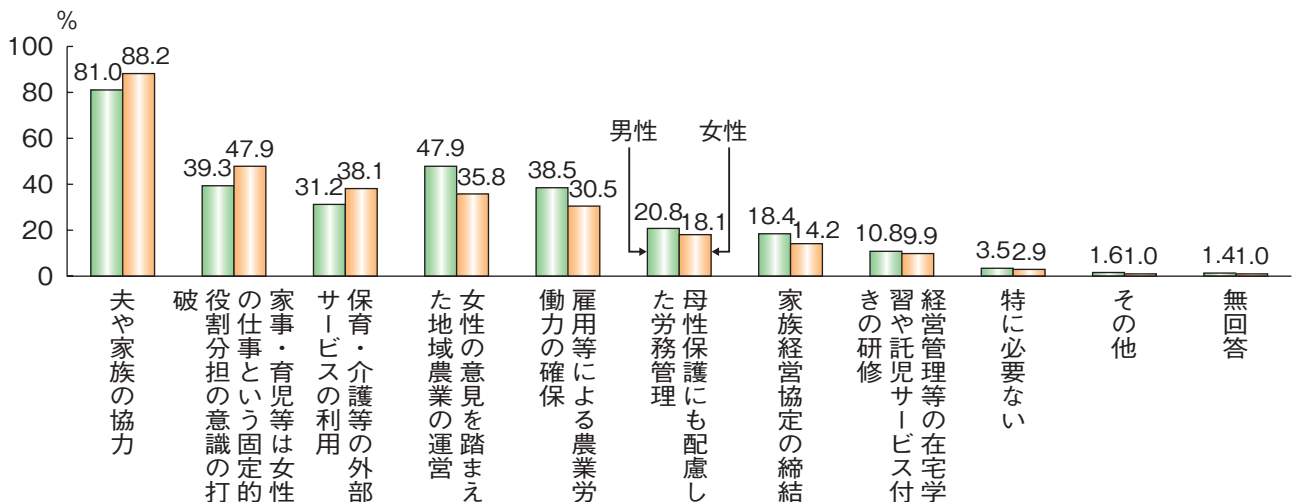
3-54 農業就業人口等に占める女性の割合の推移



資料：農林水産省「農業構造動態調査」、「総合農協統計表」、「集落営農活動実態調査」、「農業委員会及び都道府県農業会議実態調査」

注：1) 農業就業人口、集落営農における代表者は推計値
2) 集落営農は、水田・畑作経営所得安定対策に加入している組織

3-55 女性がバランスのとれた仕事や地域活動、家庭生活を実現するために必要なこと(複数回答)



資料：農林水産省「農家における男女共同参画に関する意向調査」(2009年3月公表)

注：女性農業者及びその配偶者(男性農業者)各2千人を対象として実施したアンケート調査(回収率はそれぞれ51.7%、50.9%)